

あたたかいご協力ありがとうございました!

赤い羽根共同募金運動

みなさまからいただきました募金は、地域の福祉活動や子どもたち、障がいのある方、高齢者のみなさまへの支援活動に役立てられます。



▲ 明石市立二見小学校のみなさん

※ 集合写真は直前までマスクの着用等感染防止策を徹底し、会話も控えていただいた状態で撮影しています。

目次	善意銀行	P2	後見支援センターより・弁護士に聞く！PART5	P3
	ギャラリー「ホッ♡といて」アート・着任スタッフ紹介	P4	生活福祉資金貸付制度のご案内・ようこそ！実習生	P5
	地域総合支援センターより・インフォメーション	P6	ご受賞おめでとうございます	P7
	橋本聖子五輪担当大臣が総合福祉センター新館に来館・こんな時こそ支え合い・作品大募集！			P8

回									
覧									

この広報紙は、の配分金の一部を活用しています。

明石市社会福祉協議会

検索

★ 広報紙をご入用の方はお気軽に

明石市社会福祉協議会 法人運営課 ☎924-9105 FAX 924-9109 までご連絡ください。

各総合支援センター、市民センター、サービスコーナー、コミュニティセンター等にも置いてあります。ホームページからもご覧いただけます。



みなさまの
善意に感謝します!!

善意銀行

2019年6月13日～
2020年12月14日(預託日順)

明石市社会福祉協議会

「善意銀行」はみなさまからの善意をお預かりし、市内の福祉活動に役立てる“善意の銀行”です。
お預かりした寄付金や物品は、寄付者のご希望にそうよう、市内の福祉の充実のために役立てています。

金銭預託 37件 (327,907円)

いただいた寄付金は、福祉に関わる事業や備品購入の一部に使われています。
善意のご寄付が支援を必要とする団体に広く行き渡るよう、配分の公募を行っています。

コスモスあかし様 明石市立高齢者大学校あかねが丘学園 陶芸クラブ様
カットサロンソール様 善意の募金箱 匿名ほか 34件

物品預託

いただいた品物は、市内の社会福祉法人、幼稚園・保育所、ボランティアグループやまちづくり協議会などへお渡ししました。また、地域総合支援センターをとおして必要とする方へお渡ししました。

(法人)

キャタピラージャパン合同会社様 事務用品一式・液晶カラーテレビ2台
兵庫信用金庫様 車いす4台
ナブテスコ株式会社 住環境カンパニー 甲南工場様 電動アシスト付き車いす1台
株式会社NTTドコモ関西支社様 車いす1台
明石市立鳥羽厚生館様 食器・衣類など
グループゆう様 手づくりマスク305枚
ディホーム株式会社様 マスク1,000枚
株式会社リュミエール様・合同会社よつば様 マスク2,000枚
コープこうべ 第6地区本部様 白米・餅・缶詰など
KOHARE様 ドレスなど
明石市ボランティア連絡会様 手づくりマスク
日の出医療福祉グループ様 除菌用酸性電解水(次亜塩素酸水)
ジョイスリー株式会社様 除菌用酸性電解水(次亜塩素酸水)
有限会社ブラハ様 車いす1台
株式会社コムネット様 窓用感染防止シールド7枚
錦城地区民生児童委員協議会様 衣類



車いす贈呈式



手づくりマスク

(個人)

和田 一憲様	三山 築男様	小阪 学様	高橋 富士雄様
森本 健太郎様	紺田 博湖様	津川 喜太郎様	石田 敬充様
津川 稔子様	遊谷 豊子様	岩本 花子様	起塚 恵子様
坂田 篤志様	坂本 順子様	藤田 真生様	木村 聖子様
匿名ほか 53件	玄米・マスク・紙おむつ など		

窓口でも!

振り込みでも!

銀行口座でも善意の寄付金を受け付けています!

ご寄付いただける場合は、下記口座へお振込みください。

明石市の福祉の増進に役立ててまいります。

三井住友銀行(0009) 明石支店(425) 普通口座 1317797

口座名義: 社会福祉法人 明石市社会福祉協議会

フク) アカシシヤカイフクシキョウギカイ

※お振込みの際はお名前の頭に「ゼンイ」とお付けください。

※ご寄付については税制優遇措置の対象となります。領収証を希望される場合は、ご連絡ください。

【問合せ】企画経営係 ☎924-9105 FAX924-9109

※ 集合写真は直前までマスクの着用等感染防止策を徹底し、会話を控えていただいた状態で撮影しています。

後見支援センターより

第3期「市民後見人養成講座」を開催しています

「市民後見人」は、一般の市民が後見人等になり、地域住民の立場から本人らしい生活を支えていく、新たな担い手です。

明石市社会福祉協議会では、2015年より市と一体となって、「市民後見人養成講座」を開催しています。

本年度は、第3期が12月より4回講座のカリキュラムではじまりました。

講座では、学識経験者、家庭裁判所の書記官や社会福祉士など福祉の現場で活躍する支援者から成年後見制度の理念・概要、地域福祉、権利擁護や対人援助などの後見人に必要な幅広い知識を学ぶとともに、現場での実習も行います。

明石に1人でも多くの市民後見人が誕生し、地域で自分らしい生活を実現する担い手として活躍できるよう、今後、明石市後見支援センターではさまざまな仕組みをつくっていきます。

市民後見人はこんなところでも活躍しています!

「第26回 日本福祉教育・ボランティア学習学会」で発表
(2020年11月29日)

市民後見人として活動されている 南しのぶ氏(写真中央)が高齢者の生活支援活動などにたずさわっている一般社団法人くらし支援ネット明石代表 七條基之氏(写真右)とともに全国の研究者や福祉専門職を対象に、明石市民による地域福祉の実践について報告しました。

南氏は、支援者同士が、「パディ(支え合う仲間)」として支援を共有し学び合うことで支援の幅が広がり、さらには支援者自らの学び直しにもつながることを発表しました。

また、七條氏は、明石市社協がすすめる「共に生きる」という活動のなかで、くらし支援ネット明石が生まれ、仲間が集まったこと、また、民間だからこそできる新たな価値を創造するきっかけになったことを発表しました。



【問合せ】後見支援センター ☎924-9151 FAX924-9134

※ 写真はマスクの着用等感染防止策を徹底した状態で撮影しています。

弁護士に聞く!! PART5

これで 安心 老後の備え

エンディングノート、書いてますか?

「エンディングノート(終活ノート)」とは、急な事故や病気、認知症等で自分の考えを周囲に伝えられなくなった際に備えて、緊急連絡先や治療・延命の方針、財産管理の方針、死後の葬儀や相続に関する希望等をあらかじめ記載しておくものです。

遺言書と違って決まった書式はなく、生きている間の方針も指定できるため、元気なうちに作成しておくことで、「認知症になっても自分らしく生き続けたい」という想いを叶えることができます。

書かれた内容に法的効力はありませんが、自分らしく安心して老後を過ごすために、「エンディングノート」を書いてみませんか?



ギャラリー「ホッ♡といて」 アート展示中!

“明石市立総合福祉センター新館”に
アート等を展示するギャラリーがオープンしました!



羊の谷 2月2日

あなたの力作も
展示できるかも!?



カワセミ 2月2日

ご興味のある方は まずご相談を!

【問合せ】明石市立総合福祉センター新館
☎ 927-1125 FAX 927-1126

※展示物はピクチャーレールにて展示できる物に限ります。

明石市社会福祉協議会に
新たに着任したスタッフ
を紹介します

■ あさぎり・おおくら総合支援センター



社協職員として
使命と責任を果た
すべく、全力を尽
くしていきます。

有木 社会福祉士



地域のみなさん
のお役に立つこと
ができるように頑
張ります。

友久 主任介護支援専門員

■ きんじょう・きぬがわ総合支援センター



看護師の経験を活かしながら、
地域のみなさんと楽しく仕事をし
ていきます。

山口 保健師

■ 法人運営課



みなさんが住み慣れたまちでく
らし続けることができるよう応援
していきます。

西 事務員

■ おおくぼ総合支援センター



多くの方の権利
を「まもる」こと
ができるよう、支
援していきます。

林 社会福祉士



住み慣れた地域
での生活を応援し
ていきます。

不動 社会福祉士



暮らしやすいま
ちを目指して、丁
寧に向き合ってい
きます。

木本 保健師

生活福祉資金貸付制度のご案内

明石市社会福祉協議会では、低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯等の世帯単位に、それぞれの生活の状況と必要に合わせた資金の貸付の相談窓口を設けています。お気軽にご相談ください。

貸付制度の種類		貸付限度額(※2)
◎ 総合支援資金		
生活支援費	生活再建に必要な生活費(※1)	月額20万円以内(世帯人数による)
住宅入居費	敷金等の賃貸契約に必要な費用	40万円以内
一時生活再建費	滞納した公共料金等の立替え費用 債権整理等に必要な費用 など	60万円以内
◎ 福祉資金		
福祉費	被災時の臨時に必要な経費 福祉用具等の購入に必要な経費 障害者用の自動車購入に必要な経費 出産・葬祭に必要な経費 など	580万円以内 (資金の用途に応じて、 上限目安額を設定)
緊急小口資金	緊急かつ一時的に必要な生活費(※1)	10万円以内
◎ 教育資金		
教育支援費	大学等の修学に必要な経費	月額6.5万円以内(学校種別による)
就学支度費	大学等の入学時に必要な経費	50万円以内

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯(休業・失業等)が対象の特例貸付を実施しています。(2021年3月末終了予定)

※2 貸付条件、利子の有無、保証人の有無、返済期間等が種類ごとに設定されています。また、貸付には審査があり、決定までに時間を要します。



【問合せ】 企画経営係 生活福祉資金担当 ☎924-9105 FAX 924-9109
受付時間：月曜日～金曜日(祝日除く) 9:00～17:00

※ この事業は、兵庫県社会福祉協議会が実施主体となり、明石市社会福祉協議会が相談の窓口として運営しています。

ようこそ！実習生

『明石市社会福祉協議会で実習をさせていただき、地域活動の活性化に取り組む中で、専門職が地域にどのように働きかけているのかを理解することができました。そして、地域で暮らす人々とのつながりや信頼関係がとても重要になってくる仕事だと分かりました。』

実習生在籍校

神戸学院大学
総合リハビリテーション学部




実習生在籍校

武庫川女子大学
文学部



『実習を通して、地域福祉や互助を推進するには専門職だけでなく地域住民の力が必要だと学びました。地域の事をよく知る地域住民の持つ知識や実践力を効果的に活かすためには住民の生活基盤の安定と人々のつながりを作る機会を守る事が重要だと感じました。』



地域総合支援センターより

広がってる！ 地域支え合いの輪



新型コロナウイルス感染症の感染拡大により外出自粛を余儀なくされ、もどかしさを感じている方が多くいらっしゃいます。そのような中、「みんなの顔がみたい！」「みんなとしゃべりたい！」「このままだと筋力低下してしまう！」という声を受け、感染予防対策を徹底したうえで、地域支え合い活動が再開しています。



- ・ 播州弁のラジオ体操や輪投げで運動不足解消
- ・ フラワーアレンジメントで癒し（写真左上）
- ・ 会員同士のつながりを絶やさぬよう“寄せ書き”を実施
- ・ 校区内の7つの公園を利用したオリエンテーリングを実施
- ・ 活動できない時期を利用してガイドヘルプ研修会の実施（写真上右）
- ・ おもしろ川柳で笑って健康！

楽しく笑顔いっぱいの企画を練られた様子や久しぶりに顔を合わせての笑い合いや支え合いの輪が広がっていく様子に、みんなが元気になりました。取材にご協力くださったみなさまありがとうございました。

- 現在、『コロナ禍における地域活動事例集』を作成しています。完成しましたら、お知らせいたします。

【問合せ】地域総合支援センター

あさぎり・おおくら ☎915-0091 FAX 915-0092

きんじょう・きぬがわ ☎915-2631 FAX 915-2632

にしあかし ☎924-9113 FAX 925-2799

おおくぼ ☎934-8986 FAX 934-8987

うおすみ ☎948-5081 FAX 948-5082

ふたみ ☎945-3170 FAX 945-3171

※ 写真はマスクの着用、シールドの設置等感染防止策を徹底した状態で撮影しています。



インフォメーション

不要なものを必要な人へ

リサイクル電動ベッドなどを無償で譲り渡ししています

ご家庭で使わなくなった電動ベッドなど福祉機器の提供を受け、点検・整備を行ったうえで必要とされている方に無償で譲り渡ししています。ご希望の方は、下記までご連絡ください。（※配達はしておりません。直接引取りに来ていただくか、運送業者などに引取りを依頼してください。）

また、不要な福祉機器（電動ベッド、車いす、シャワーいす、杖など）をご提供いただける方もご連絡をお願いします。お引き取りできない場合もあります。まずは事前にお問合せください。



【問合せ】在宅福祉係 ☎924-9105 FAX 924-9109

ご受賞おめでとうございます

ボランティア功労者厚生労働大臣表彰 手話サークル つくしんぼ



【みなさまからの一言】

この度の受賞大変嬉しく思います。
長きにわたり私たちの活動を多くの方々に応援
していただき感謝しかありません。

『海の日』海事関係功労者国土交通大臣表彰 江井島の海と子どもを守る会



【みなさまからの一言】

メンバーと地域のみなさまと一緒に協力し合っ
て海岸清掃を続けてきました。
これからもみなさまと頑張っていこうと思います。

明石市福祉功労表彰 れんげ草



【みなさまからの一言】

楽しく活動することをモットーに続けてきました。
ボランティア活動を通して良い仲間と出会うこ
とができました。

ひょうご県民ボランティア活動賞 谷八木友愛



【みなさまからの一言】

みんなで協力し合って楽しく活動しています。
ボランティア活動で笑顔が届けることが、私た
ちの若さの秘訣だと思っています。

永年ボランティア表彰 75名の方が受賞されました

この表彰は、明石市社会福祉協議会が市内で5年以上ボランティア活動を継続し、かつ、規定の年齢に該当する方の功績を称え、明石市ボランティア連絡会所属グループや地区社会福祉協議会から推薦された方を表彰するものです。日頃から明石市でのボランティア活動にご尽力いただいているみなさまに敬意を表しますとともに、今後ますますのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

※ 集合写真は直前までマスクの着用等感染防止策を徹底し、会話も控えていただいた状態で撮影しています。

【問合せ】 地域福祉係 ☎924-9105 FAX 924-9109

橋本聖子五輪担当大臣が明石市立総合福祉センター新館に来館



12月16日、先導的共生社会ホストタウンとしての「やさしいまちづくり」、共生社会の実現に向けた取り組みの拠点となる施設として整備された明石市立総合福祉センター新館に、東京オリンピック・パラリンピック担当大臣である橋本聖子国務大臣（写真左）が来館されました。



誰もが自由に交流できる交流スペース、車いすバスケットボール体験の様子や軽食・喫茶「なかま」（障がい者就労支援カフェ）の取り組みなどを視察され、卓球女子で東京パラリンピック出場を目指す別所キミエさん（写真右）とラリーを楽しまれました。

こんな時こそ支え合い

お米1.6トンを寄付していただきました！



藤田真生様（写真左）よりいただいた1.6トンのお米は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより、緊急かつ一時的に支援が必要となったご家庭や地域で活動するボランティアグループをおしてみなさんにお渡ししているところです。



作品大募集！ 入選作品発表と次回のテーマ

第107号（2020年10月号）テーマ「コロナ禍における感謝やエールを伝えよう」
入賞作品「母さんのご飯がうまい 気遣う子」
こどもがお母さんを気遣い、感謝の気持ちを伝えるけなげな姿をうかがうことができます。
■ 次回のテーマは「わたしの中のオリンピック」です。たくさんのご応募をお待ちしています。

- 募集内容**
- ・「物語」・「エピソード」部門
 - ・「俳句」・「短歌」・「川柳」・「詩・ポエム」部門
 - ・「写真」・「絵画」部門（A2サイズ以下）
- ※本人が制作・撮影した未発表の作品。
★作品の題名と投稿の理由を添えてご応募ください。

応募メ切 2021年5月14日（金）消印有効
応募方法 氏名・住所・電話番号を添えて郵送、メールまたは持参で下記まで提出してください。
(メール) daihyo@akashi-shakyo.jp

入賞発表 第110号（2021年7月発行予定）で発表します。★入賞者にはボールペンをプレゼントします！

（郵 送）〒673-0037
明石市貴崎1丁目5番13号
社会福祉法人
明石市社会福祉協議会
法人運営課 企画経営係 宛

✕キリトリ
▲応募の際に切り取ってご利用ください。
※応募いただいた作品は返却しません。（返却が必要な場合は、応募時にお知らせください）
※入賞者へのみ連絡します。
※郵送時の事故による作品の破損等の責任は負いかねます。
※郵送料金は応募者の負担となります。
※ご提供いただいた個人情報については本企画の利用目的以外の目的では利用しません。

【問合せ】企画経営係 ☎924-9105 FAX 924-9109